

平成26年度 ふれあいサロン交流会を開催



高梁総合文化会館でふれあいサロンの代表者による交流会を開催しました。(3ページに関連記事)

ふれあいサロン活動紹介等 2～3頁

赤い羽根共同募金、

歳末たすけあい募金実績等 4～5頁

ボランティア研修会 6頁

赤木五郎賞等 7頁

地域福祉活動報告等 8頁

ボランティアセンター登録団体会員募集 9頁

お知らせ 10頁

寄付 11～12頁

ふれあいサロン活動紹介



中井町 津々羅サロン

真庭市に接する中井町津々地域の一角で11戸の小さい集落です。社会福祉協議会がサロン事業を始めから、休むことなく毎年取り組んでいきます。

構成員は一人暮らしの方を含め老若男女23人ですが、無理な参加を求めず参加できる人が一堂に会し、最高の笑顔で何の遠慮もいらず年度当初に決まったテーマに沿って、和気あいあいと楽しく交流しています。日帰り旅行やビニール紐の籠作り、手打ちうどん作りに忘年会など行いました。2月は、秋に切っておいた竹を使い、熟練の方の指導をいただきながら竹ぼうき作りを楽しみました。今では作る人も少なくなっており、先人の技を引き継ぐことが出来たと思います。出来上がった竹ぼうきは数本を中井小学校へ贈りました。

津々羅地区の人々の笑顔と温かみのある交流が、サロン活動への大きな力になっています。この地域でも、サロンに取り組まれたらいいと思います。



有漢町 安元パワーズ



難産で産声を上げた我がサロンも3歳を迎えました。地域の住民がお互いに見守りあうことの大切さを感じながら、年十数回顔を合わせる機会を作り、祭り、グラウンドゴルフ、家屋の共同防除などで親睦を深めています。

7月には寿司やケンピキ焼きを作り、カラオケを楽しみ一日ゆつくりとくつろぎました。参加出来なかった人には昼食を配り、お互いに笑顔があふれていました。2月15日には、皆生温泉に行きワイワイガヤガヤと湯に浸かり、おいしい料理に舌つづみを打ちながら心の洗濯をし、今年度の締めとしたところです。

悩みは我々が年々歳が大きくなり、若い人が増えてこないことです。これが限界集落の泣きどころ。

老いの集団なれど、次は『思い出を振り返る』と言う事で新聞を発行する予定です。





ふれあいサロン交流会を開催しました

2月26日、ふれあいサロン交流会を開催しました。

当日は70人の参加があり、サロン代表者2人の方に実践発表をしていただき、その後グループで情報交換会を行いました。また、後半ではサロンですぐに実践できるレクリエーションや体操の指導など盛りだくさんの内容でした。

各サロンの状況など活発に情報交換が行われ、レクリエーションでは童心に返り楽しい時間を過ごし有意義な交流会となりました。

参加された方の声

- ・ 他のサロン活動が今後の参考になった
- ・ サロンの知名度が地域に密着していることが分かった
- ・ 今日習ったレクを早速試してみようと思う
- ・ 運動とかは考えていなかったけど、今後は体操なども取り入れたい



お知らせ

年度末が近づいてきました。今年度の事業が終わられたサロン団体は実績報告書の提出をお願いします。また、新年度の申請受付を4月より行いますので引き続き、よろしくをお願いします。分からないことがありましたらお気軽にご相談ください。

▽お問い合わせ先

地域福祉課 ☎ 22 7243
川上支所 ☎ 48 9770

有漢支所 ☎ 57 3218
備中支所 ☎ 45 3131

成羽支所 ☎ 42 2005



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力いただきありがとうございました



歳末たすけあい募金 実績報告



募金区分	募金額 (円)
戸別募金	2,517,035
個人募金	19,923
その他募金	43,792
合計	2,580,750

今年度も皆さまからお寄せいただきました募金は、在宅で暮らされている重度の要介護者の方や難病者等303人の方へ慰問金としてお届けしました。

また、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らせるよう援助活動に携わるボランティア団体、福祉団体13団体へ活動費の助成をしました。

赤い羽根共同募金 実績報告

募金区分	募金額 (円)
戸別募金	4,370,350
街頭募金	72,112
法人募金	737,500
学校募金	15,718
職域募金	679,600
イベント募金	156,017
個人募金	12,540
その他募金	62,752
合計	6,106,589

皆さまのあたたかいご協力により、目標額を上回る多くの募金が集まりました。

お寄せいただきました募金は、社会福祉協議会や民間福祉施設等に配分されます。

皆さまのお住まいの地域で幅広く使われ、地域福祉の推進に役立てさせていただきます。

「赤い羽根 まちづくり福祉活動助成事業」の助成金申請を受付けています

～ 自主防犯・自主防災活動を支援します ～

高梁市共同募金委員会では、地域福祉の充実を図るため、地域の安全・安心な暮らしを住民とともにつくる自主防犯・自主防災活動に対して支援をしています。**自主防犯・自主防災活動のために、年間を通じて必要なパトロール用資材及びユニフォーム等の整備に対する助成金**を希望される団体は、申請書の提出をお願いいたします。

☆助成対象団体

高梁市内において、原則1年以上の継続した活動が見込めること。また、団体等の運営が住民を主体とした組織で、自主性、自立性を有し、事業計画及び会計状況が明らかであること。

※対象外活動

- 概ね50世帯以下の規模及び次に該当する活動
- 介護保険の対象となる活動
- 同内容の助成を受けている活動
- 機器・器具類の整備、掲示板等の設置などのハード事業

☆助成金額……………1団体あたり10万円以内とする

☆実施期間……………平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

☆申請期間……………平成27年4月1日～5月31日



▽お問い合わせ先

地域福祉課 ☎ 22 7243 有漢支所 ☎ 57 3218 成羽支所 ☎ 42 2005
川上支所 ☎ 48 9770 備中支所 ☎ 45 3131

歳末たすけあい募金で広がる地域の絆

☆高梁市手話ボランティアの会 (クリスマス交流会)

市内の5団体の手話サークルと養成講座生も参加して、手話によるクイズや朗読・歌など盛りだくさんで皆楽しく笑いのたえない交流が出来ました。



☆有漢町ボランティアあじさいの会 (友愛訪問)



75歳以上の一人暮らしの方へ手作りのお寿司を持って訪問し、近況をうかがいながらお元気でお過ごしくださいと声掛けをしました。

☆宇治婦人会(おはぎづくり)



宇治地区の75歳以上の一人暮らしの方、80歳以上の二人暮らしの方におはぎを持って訪問しました。

☆川上地区歳末友愛訪問ボランティア (友愛訪問)

川上地区で75歳以上の一人暮らしの方、高齢者世帯の方へボランティアで弁当を作り、安否確認を兼ねた友愛訪問をしました。



☆川関婦人部(高齢者訪問)

80歳以上の一人暮らしの方を、お弁当を作って訪問し、いろいろな話をしました。皆さん大変喜んで下さいました。



☆あざみボランティア(生活支援と交流)



年末年始を寮で過ごす入所者の方が楽しく過ごせるようにパンジーや葉ポタンを植えました。また、クリスマス会を開き、皆で楽しいひと時を過ごしました。

☆備北商工会女性部(老人ホーム慰問)



町内の老人ホームを訪ね、プレゼントをお渡しするだけでなく、入所者の方々とふれあい楽しいひと時を過ごしました。

☆備中町ヘルスボランティア連絡会 (歳末慰問)

80歳以上の一人暮らし及び夫婦のみの世帯を対象に、おせち料理等を作りお届けしました。



☆かぐら街道布寄直売所(餅つき)

会員が作ったもち米で施設の入居者と餅つきをしました。きな粉餅等を作って昔話などをして楽しいふれあいがありました。



☆高梁市身体障害者福祉協会(歳末激励慰問)

重度の障害を持たれている方を慰問しました。

☆四ツ葉の会(年末年始慰問)

施設を訪問して、寮生とクリスマス会、忘年会、新年会をして交流を深めました。

☆ひまわりボランティア(年末年始慰問)

施設を訪問して、寮生とクリスマス会、忘年会、新年会をして交流を深めました。

☆ラベンダーボランティア(生活支援と交流)

年末年始を施設や寮で過ごす入所者の方を訪問し、交流を図りました。

ボランティア研修会

テーマ『地域での絆づくり』

2月16日、高梁市文化交流館で、潜在的なボランティアの発掘と本市における更なるボランティア活動の活性化を図ることを目的にボランティア研修会を開催しました。当日は、ボランティア団体やサロン団体関係者を含め多くの市民の方が参加されました。

実践発表

☆「8・20広島豪雨災害

広島市安佐北区の取り組みについて

安佐北区（広島市）では、昨年の豪雨災害の際に災害ボランティアセンターを開設し、被災された方の生活の困りごとや新たなニーズに耳を傾けて支援に繋げてこられました。現在は、地域の方からの声で「すまいるカフェ」を開設し、お茶会やおしゃべりなど、地域の方々がほっとでき、気軽に集える場づくりにも取り組まれています。

三村センター長は、災害の経験を得て「普段からの繋がりの大切さを痛感した」と話されました。



安佐北区復興連携センター「すまいる」センター長 三村誠司 氏

☆「被災地支援と地域の防災意識向上の為に取り組みんだ『3・11絆プロジェクト』について

落合地区社会福祉協議会は、被災された方々のために少しでもお役に立てることをやろうと、昨年3月11日にイズミゆめタウン高梁で、『3・11絆プロジェクト』を実施しました。手作りクッキーやキャンドルを販売し、収益金を避難・移住者支援団体等へ寄付したり、地震体験ブースを設け、起震車による地震体験等に取り組みされました。

関会長は、活動を通して思いついたら、まずやってみることの重要性や、一人一人の「たすけあいの心」が、「地域づくり」には大切になると話されました。



落合地区社会福祉協議会 会長 関 安之 氏

記念講演

☆「地域での安心・安全まちづくり」

様々なメディア等でおなじみの山村氏からは、被災地域での数々の現地調査から見えてきた、日常的に近所の住民同士が声を掛け合い、助け合い、傍観者にならない心、「近助の精神」の大切さについて講演がありました。

山村氏は、「災害が起こると、当たり前のことが当たり前に判断できなくなる。避難訓練も大切だが訓練のための訓練にならないような活動が大切」、「被害想定にとられず、悲観的に準備・訓練し、楽観的に生活せよ」等々、参考になるキーワードたっぷりの講演となりました。

途中、阪神・淡路大震災での生々しい状況や、容赦のない自然災害の猛威が映された映像もあり、参加者は真剣に耳を傾けていました。



防災・危機管理アドバイザー 山村武彦 氏

講演の感想

- ・高梁は大丈夫と思わず、実践できることをやってみよう。
- ・落合地区の活動を参考に、一步前進しなければと思いました。
- ・日頃から防災意識を持つ必要性が分かった。
- ・近助の大切さを強く思います。

などの感想がありました。



受賞おめでとうございます

第14回赤木五郎賞の贈呈式が2月17日、高梁国際ホテルで開かれ、今回、市社協評議員としての永年の功績が認められ、福祉分野の功績として三宅智子さん(備中町)が、受賞されました。また、このほか受賞された方々は次のとおりです。

【保健医療分野における功績】

- (個人)
 - ▽谷本 秀二さん(成羽町)
 - ▽三村 恭永さん(巨瀬町)
- (個人)
 - ▽徳森 勝造さん(成羽町)



福祉施設の作品展示コーナー

高齢者作品展示会 ～川上いきいき交流館～



利用者さんの力作が、勢ぞろいしました。利用者さん達が、趣味などを生かし日頃作成された作品を、多くの方々に観て頂きたいと展示会を行いました。

平成26年度 賛助会員会費にご協力いただいた法人及びふるさと会員

12月16日から2月28日までの受付分を掲載しております。ご協力ありがとうございました。(順不同、敬称略)

■法人会員

(高梁地区).....
医療法人 仲田医院

■ふるさと会員

(高梁地区).....
兵庫県 有安 斉

3月1日からの受付分は5月15日発行の第61号に掲載させていただきます。

平成26年度 賛助会員会費のお願いについて

市内外の方々へご協力のお願いをしております、賛助会員会費について、多くの方からご理解ご賛同を賜りありがとうございます。

この会費は、ふれあいサロン事業やボランティアセンター活動事業等の地域福祉活動を推進していくうえで、欠かせない貴重な財源となっております。

引き続き、賛助会員を募っておりますので、会員制度の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、2月末現在で、ご協力いただきました会費は次のとおりです。

◆平成26年度 賛助会員会費 協力の状況 (平成27年2月28日現在)

会員区分	件数 (人)	金額 (円)
普通会員	6,625	6,981,000
法人会員	276	904,000
ふるさと会員	92	307,000
特別会員	11	55,000
合計	7,004	8,247,000





福祉講演会を開催

1/10

備中地区社会福祉協議会

備中地区社協では、福祉への関心を高め、生きがいづくりに繋げることを目的に福祉講演会を開催しました。

当日は、福祉委員、民生委員児童委員等90人が参加されました。

講師に岡山盲学校講師 竹内昌彦先生をお迎えし、「私の歩んだ道〜見えないから見えなかった〜」と題して、自己の生い立ちや良き両親、素晴らしい恩師に巡り合え、前向きに強くたくましくなれたこと。また、講演活動の収益でモンゴルへ盲学校建設の夢を果たしたこと等の講演がありました。

講演後、参加者は「笑いあり、涙ありでとても感動した。いい話が聞けた」と話されていました。

介護者教室を開催

2/18

川上地区社会福祉協議会

川上地区社協では、少しでも家族介護者の方の負担軽減につながればと、毎年介護者教室を開催しています。

本年度は、「認知症を学び地域で支えよう」をテーマに、民生委員児童委員、福祉委員を交えて『認知症サポーター養成講座』を行いました。認知症の症状や予防法、正しい接し方を学ぶための寸劇やグループワークを行いました。

参加者は、自分達ならどんな対応ができるか意見を出し合い、身近でも起こりうる可能性のある認知症について、理解を深めました。



お餅つきで地域の

子供たちと交流

成羽地域老人クラブ

成羽地域老人クラブでは、地域の元気づくり(次世代育成支援)事業の一環として、お餅つきで地域の保育園児と園児の保護者の方等と三世交代交流を行いました。

園児たちは周りの友だちから元気いっぱいのお声援や、おじいちゃんたちの掛け声を受けて、「よいしょ、よいしょ」と餅つきを体験しました。

体験した園児から「杵を持つのは難しかったけど、つくのは楽しかった」と感想がありました。参加した会員からは「子供たちがすごく元気でこちらも元気をいっぱいもらうことができました」と話されていました。



安全講習会を開催

2/25

高梁市シルバー人材センター

高梁市シルバー人材センターでは、安全講習会を開催し、多くの会員が参加しました。

当日は、やまびこ西部株式会社の実金達哉氏を講師に招き、草刈の安全作業や草刈り機の基本構造やメンテナンス方法などについての講話及び実地での指導をいただきました。参加者は、草刈機での安全作業について理解を深め、今後安全に作業を行うことを再認識しました。

同センターでは、高齢者の皆さんの今まで培ってこられた豊かな知識、経験、技術を発揮する場の提供をしておりますので、お気軽にご相談ください。

ボランティアセンター登録団体会員募集

▽ふきのとう(高梁)

平成元年に「ふきのとう」を発足し、現在4人で活動しています。活動としては、図書館や学童保育で子供たちに本の読み聞かせや手作り紙芝居などを行っています。

私たちは、活動のたびに赤ちゃんや子供たちから明るい笑顔とパワーをもらっています。

興味のある方は一緒に活動してみませんか。

活動日：年5回(土曜日に活動)
学童保育等で随時活動

連絡先：会長 竹井昌子

☎226676



▽高梁ハーモニカ倶楽部(高梁)

私たちは平成13年にクラブを立ち上げ、現在は会員20人で、月に1回高梁公民館でハーモニカの練習を行っています。

また、施設等からボランティア要請があれば施設に向き、ハーモニカの演奏で歌を歌い利用者の方に楽しんでもらっています。

ハーモニカ演奏に興味を持たれた方がおられましたら、一緒に楽しく活動してみませんか。

活動日：月1回(第2金曜日)

連絡先：会長 田中完治

☎220866



☆ボランティア活動 保険の加入について

平成26年度のボランティア活動保険の補償期間が3月31日で終了となります。

4月1日から活動をされる団体・個人の方は、3月31日までに市社協(地域福祉課・各支所)で保険の加入手続きをお願いします。

お知らせ



☆ボランティア登録について

ボランティアセンター登録団体の活動紹介や会員募集を広報紙等に掲載し、ボランティア活動の活性化を図っていきますので、ボランティア登録カードの提出をお願いいたします。

また、登録には団体・個人ともに年度ごとの更新申請が必要となります。

▽お問い合わせ先

地域福祉課 ☎22 7243

川上支所 ☎48 9770

有漢支所 ☎57 3218

備中支所 ☎45 3131

成羽支所 ☎42 2005

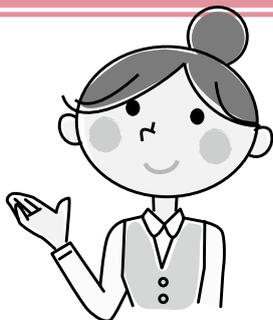
* 福祉委員選出について *

市社協では、住民の皆さんが安心して暮らせるよう、各町内会で見守りや声かけ活動を行う福祉委員の選出をお願いしています。

平成27年度につきましても、各町内会より福祉委員をご選出いただき、福祉委員選出届を市社協(地域福祉課・各支所)、各地域市民センターへ提出していただきますようお願いいたします。

なお、福祉委員を交代される場合はお渡ししております福祉委員証を必ず地区社会福祉協議会(市社協地域福祉課・各支所、各地域市民センター)へご返却いただきますようお願いいたします。

平成27年度 ふれあい 相談と援助



☆ふれあい相談は随時相談に応じます。

福祉総合相談は平成27年度から定例の相談日を設けず、随時相談に応じます。

☆身体障害者相談は次のとおりです。

場 所	高梁総合福祉センター
時 間	10:00~15:00
月/日	4月2日(木)
	5月7日(木)

☆相談予約や問合せ先は次のとおりです。

地域福祉課 ☎ 22 7243 有漢支所 ☎ 57 3218 成羽支所 ☎ 42 2005
川上支所 ☎ 48 9770 備中支所 ☎ 45 3131

※プライバシーは完全に守ります。お気軽にどうぞ。

介護職員のおすすめレシピ

ほうれん草のピーナッツ味噌和え



☆材料 4人分☆

ほうれん草……………一束
ニンジン……………3分の1本
モヤシ……………適量

●調味料

味噌……………7~8g
みりん……………適量
ユズ……………果汁、皮少々
ピーナッツ ……適量(フードプロセッサーで潰すかすりこぎでつぶした状態のもの)
一味……………少々

☆作り方☆

- ①ほうれん草はさっと茹で、水にさらし、水切りして1口大に切っておく。
- ②モヤシも茹で、ザルにあげて水切りをする。
- ③ニンジンは千切りにして茹でる。
- ④味噌、みりんを混ぜ合わせ、電子レンジで30秒ほど加熱して、ユズ果汁を入れる。
- ⑤①~③と④を混ぜ合わせ、最後にピーナッツと一味を少々ふり、軽く混ぜる。
- ⑥お皿に盛り、ユズの皮をのせて出来上がり♪

ポイント



寒い時期に不足しがちな、緑黄色野菜のほうれん草とニンジン、ビタミンEが豊富なピーナッツを使って血行を良くしましょう。ビタミンEは、血流が良くなるので、冷え症や肩こり、腰痛などが改善されます。



社会福祉協議会へのご寄付

ありがとうございました。

27年1月～2月

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ平成27年1月と2月にいただいたご寄付についてお知らせします。心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。

なお、金額等については寄付者の意向によって掲載しています。(敬称は略させていただきます。)

〔香典・玉串料・御花料返し〕

《高梁支会》

- 金一封 横町 長船 祥司 (故・安雄様)
- 金一封 川面町 上森 隆志 (故・英子様)
- 金一封 高倉町 上寺 寛叡 (故・通陽様)
- 金一封 落合町 松下 仁紀 (故・信次様)
- 金一封 中間町 安原 正博 (故・時子様)
- 金一封 和田町 竹井 茂雄 (故・寿様)
- 金一封 松原通 宮地 洋輔 (故・トミエ様)
- 金一封 中間町 松本 治行 (故・弘様)
- 金一封 下谷町 斎藤 節子 (故・笹田糸之助様)
- 金一封 伊賀町 工藤 喜久 (故・堅一様)
- 金一封 原田南町 笹田 陽子 (故・尚様)
- 金一封 巨瀬町 石井 靖人 (故・米一様)
- 金一封 玉川町 西川百合子 (故・勇様)
- 金一封 落合町 西本喜美子 (故・西林茂子様)
- 金一封 中井町 妻井 博之 (故・都美恵様)
- 金一封 倉敷市 藤井 勝 (故・福枝様)
- 金一封 落合町 藤原 運平 (故・一恵様)
- 金一封 松原町 平松 秀章 (故・文子様)
- 金一封 津川町 小野喜久二 (故・智恵子様)

《津川地区》

- 金一封 高倉町 小林多美男 (故・豊様)
- 金一封 落合町 田村 二郎 (故・みやこ様)
- 金一封 落合町 日名 徳安 (故・猛様)
- 金一封 宇治町 杉田 善一 (故・宏江様)
- 金一封 高倉町 小見山力信 (故・富子様)
- 三万円 中井町 和田小奈恵 (故・学様)
- 金一封 高倉町 難波 俊明 (故・重様)
- 金一封 高倉町 伊達 勝義 (故・夏子様)
- 金一封 上谷町 後藤 紀元 (故・久恵様)
- 金一封 落合町 富弥 犬一 (故・幸子様)
- 金一封 川面町 谷口 元寿 (故・美加代様)
- 金一封 岡山市 清水 享子 (故・岡本敏子様)
- 金一封 東町 川村 晴彦 (故・八千代様)
- 金一封 落合町 森下 薫 (故・計一様)
- 金一封 高倉町 田中 定女 (故・毅様)
- 金一封 中井町 石川 行博 (故・操様)
- 金一封 中井町 上山 勇 (故・トメ様)
- 金一封 落合町 石井 憲夫 (故・香様)
- 金一封 和田町 菊地 祥策 (故・美枝子様)
- 金一封 落合町 赤木 哲郎 (故・長女様)

《巨瀬地区》

- 金一封 高倉町 小原 英昭 (故・房子様)
- 金一封 川面町 一町田寛子 (故・貢様)
- 《津川地区》
- 金一封 津川町 小野喜久二 (故・智恵子様)
- 《川面地区》
- 金一封 川面町 上森 隆志 (故・英子様)
- 金一封 川面町 谷口 元寿 (故・美加代様)
- 金一封 川面町 一町田寛子 (故・貢様)
- 《中井地区》
- 金一封 中井町 岩本 幸夫 (故・操様)
- 金一封 中井町 妻井 博之 (故・都美恵様)
- 二万円 中井町 和田小奈恵 (故・学様)
- 《玉川地区》
- 金一封 玉川町 西川百合子 (故・勇様)
- 《宇治地区》
- 金一封 宇治町 関 信幸 (故・忠様)
- 金一封 宇治町 杉田 善一 (故・宏江様)

《落合地区》

- 金一封 落合町 渡辺 正博 (故・尊子様)
- 金一封 落合町 西本喜美子 (故・西林茂子様)
- 金一封 落合町 日名 徳安 (故・猛様)
- 金一封 落合町 石井 憲夫 (故・香様)
- 《有漢支会》
- 金一封 有漢 上森 信夫 (故・嗣二様)
- 金一封 有漢 織田 博文 (故・恵美子様)
- 金一封 東京都 武田みや子 (故・河内イクエ様)
- 金一封 上有漢 大月 英雄 (故・梅子様)
- 《成羽支会》
- 金一封 成羽 白木 一正 (故・克己様)
- 金一封 下原 森 郁子 (故・小澤多喜子様)
- 金一封 成羽 東西 伸一 (故・一夫様)
- 金一封 坂本 西江美知子 (故・一秀様)
- 金一封 長地 中村 稔 (故・政子様)
- 金一封 小泉 山本 勝己 (故・千代子様)
- 金一封 成羽 日名 照 (故・島代様)

金一封 成羽 伊藤 征二
 (故・花子様)
 金一封 成羽 宮本 常世
 (故・昇様)
 金一封 下原 難波 馨
 (故・ハナヨ様)
 金一封 坂本 北川 巖
 (故・町代様)
 五万円 下原 川上 忠彦
 (故・文子様)

《川上支会》

金一封 三 沢 三村 薫
 (故・ヨシエ様)
 金一封 地頭 森川 節男
 (故・ミヨ様)
 金一封 仁 賀 三宅 清子
 (故・奎祐様)
 金一封 仁 賀 後 利光
 (故・武佐志様)
 金一封 七 地 川上 真吾
 (故・チヨコ様)
 金一封 地頭 滝川 裕美
 (故・ヤスエ様)
 金一封 鉄砲町 安部 栄
 (故・美都里様)

《備中支会》

金一封 平 川 瀬戸川保夫
 (故・恵子様)
 金一封 岡山市 江草 充治
 (故・貞女様)
 金一封 布 瀬 高見 俊彦
 (故・明子様)
 金一封 長 屋 川上 光男
 (故・幸四郎様)
 金一封 布 賀 西川 哲夫
 (故・徳男様)
 金一封 長 屋 芳賀 千歳
 (故・次男様)

金一封 布 賀 赤迫 正大
 (故・宏一様)
 金一封 布 瀬 山本 健資
 (故・美智子様)
 金一封 布 賀 加藤 邦弘
 (故・美津子様)

【一般寄付】

《高梁支会》
 金一封 匿名 名

(一般寄付として)
 金一封 岡山市 故・加藤美智子様遺族
 (故・加藤美智子様の遺志として)
 金一封 匿名 名
 (社会奉仕として)

第368回、第369回目
 金一封 松原町 藤井 恵子
 (けこちゃんのTwinKle)
 音楽室の収益金として)

《有漢支会》

金一封 有 漢 田中小都美
 (快気内祝いとして)
 金一封 有 漢 高田 春子
 (退院内祝いとして)
 金一封 有 漢 平加 政子
 (退院内祝いとして)
 金一封 有 漢 宮本 文男
 (退院内祝いとして)
 金一封 有 漢 迫田 郁子
 (退院内祝いとして)
 金一封 上有漢 森山 恭子
 (退院内祝いとして)
 金一封 有 漢 山縣加代子
 (退院内祝いとして)
 金一封 有 漢 河原 奎吾
 (退院内祝いとして)

《川上支会》

金一封 仁 賀 松本 徹三
 (退院内祝いとして)
 金一封 下大竹 堀江 次子
 (退院内祝いとして)
 金一封 領家 森川 弘之
 (退院内祝いとして)
 金一封 仁 賀 妹尾アヤミ
 (退院内祝いとして)

《備中支会》

金一封 布 賀 石井美代野
 (退院内祝いとして)
 金一封 布 賀 三宅 智子
 (赤木五郎賞受賞お礼として)

1月15日発行(第59号)において掲載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

◆12ページ

【一般寄付】

《高梁支会》
 (誤)
 金一封 匿名 名
 (社会奉仕として)

(正)

金一封 匿名 名
 (社会奉仕として)
 第366回、第367回

編集後記

厳しい寒さも多少和らいできましたが、夜になるとまだまだ寒く、春が早く来ないかと待ち遠しく思う日々です。

さて、今回の広報紙では、ふれあいサロンの代表者が集まっていたとき、各サロンの活動状況など情報交換を行い、交流を深めていただきました、ふれあいサロン交流会を掲載しております。また、市内で活動されているボランティアさんなど多くの方が参加されました、ボランティア研修会について掲載しております。今回の研修会は、『地域での絆づくり』をテーマとして開催しており、安佐北区復興連携センター「すまいる」の三村センター長、落合地区社協の関会長からの実践発表や防災・危機管理アドバイザーの山村氏の記念講演があり、防災を通じて地域のたすけあいについて理解を深める研修会となりました。

このほか、歳末たすけあい募金の助成により、各地域で取り組まれている各種団体の活動を紹介しております。

来月から新年度となります。引き続き、市社協の各種事業や情報を広報紙を通じて発信してまいりますので、よろしく願いいたします。(K)



この広報紙は、寄付金の一部を活用して発行しています